

CITY OF YOKOHAMA

# こどもの送迎問題の解決を目指す!! 「こども専用送迎サービス」実証実験について

～地域事業者等と横浜市が協働で実施～

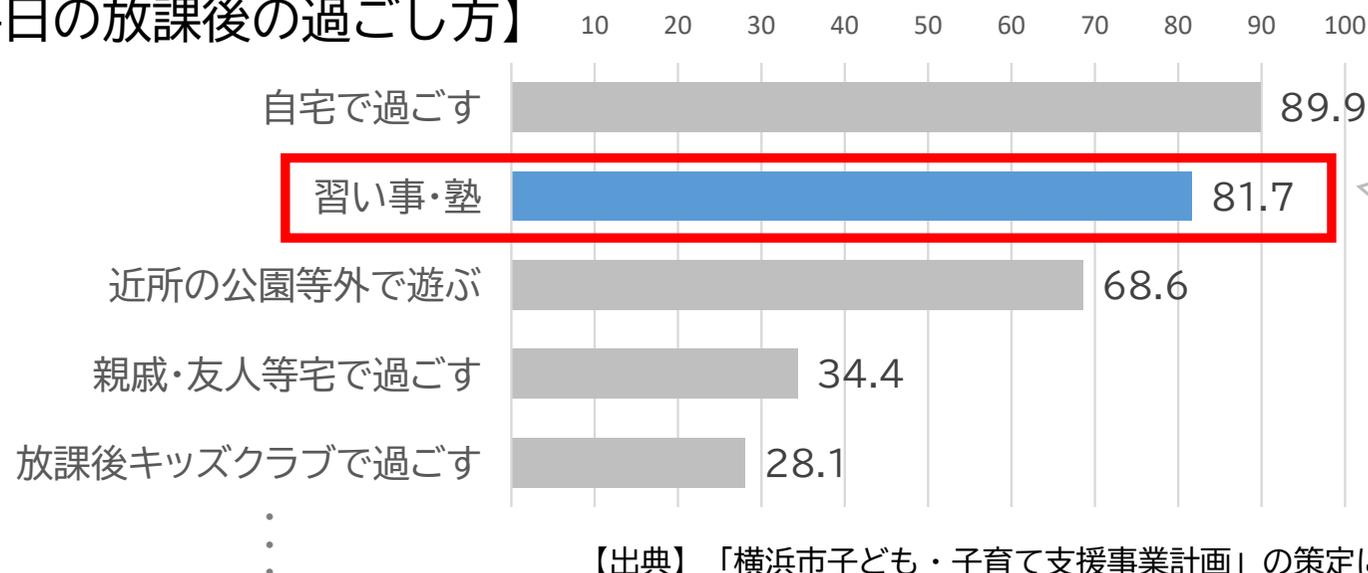
2023年11月1日  
市長定例記者会見

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 【背景】

- 小学生の放課後の過ごし方は、「習い事・塾」が8割超

【平日の放課後の過ごし方】



利用日数も  
週2日以上が  
8割

【出典】「横浜市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けたニーズ調査（平成30年度）

子育て家庭の時間貧困の解消に向けて、  
「送迎」の負担軽減は、ニーズの高い支援策の一つ

## 【これまでの経緯】

# 令和5年3月「こども送迎サービス」実証実験を実施

【概要】 h a b株式会社と地域事業者、横浜市が連携し、実証実験を実施

【対象】 関内駅周辺で習い事に通う小学生14名（のべ48名乗車）



【実証実験時の動画】

## 【アンケート結果】

- ◆ サービスが有償でも継続利用したい：100%
- ◆ 「生活が激変した」「もう手放せない」

# 【こども送迎サービスの特徴】

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

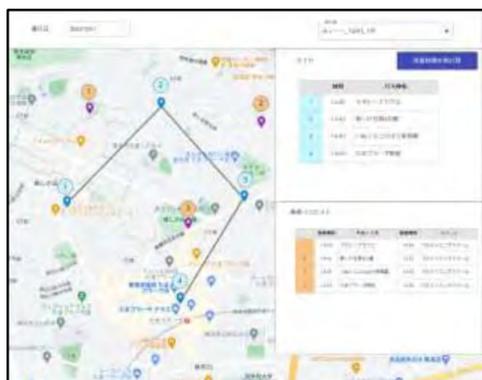
- こども達だけ で タクシーに相乗り
- 希望の停留所・日時を リクエスト
- スマホ で登録・予約・乗降通知受取・決済

## リクエスト



希望の乗降場所・時刻を登録

## AIルート生成



AIがルート・台数を算出し発信

## 予約・決済



生成ルート・時刻でよければ予約

## 当日乗車



こども達だけで相乗り

## 【本年度の実証実験について】

規模拡大(エリア・人数)、利便性向上、より実践的に!!

実施時期	令和5年12月 ~ 令和6年2月
対象者	本事業で提携する習い事事業者や医療施設に通う小学生
運行エリア	市内3区（鶴見区、中区、青葉区）
連携する企業・団体等	習い事事業者、医療事業者、タクシー事業者、システム開発事業者、停留所提供事業者、行政、その他団体 等

※ 現時点での想定です。詳細は後日公表します。

※ 本事業は、令和5年7月に国土交通省「地域交通共創モデル実証プロジェクト」に採択されています。

## 【ゲスト紹介：hab株式会社】



明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

「誰もが諦めない世界を」をビジョンに、地域の習い事に通うお子様が相乗りして目的地へ行けるスクールシャトルシェアリングに関する各種サービスを提供しており、運輸事業者のみに留まらない様々な関係者と連携した事業展開を行っています。

【設 立】 2022年8月

【代表者】 代表取締役 豊田 洋平

【所在地】 横浜市西区みなとみらい3丁目7-1  
オーシャンゲートみなとみらい8階  
神奈川県SHINみなとみらい

【Webサイト】 <https://habshuttle.com/>



明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

横浜市

×



「明日をひらく都市を共にめざす仲間」とともに、  
「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を推進します!!